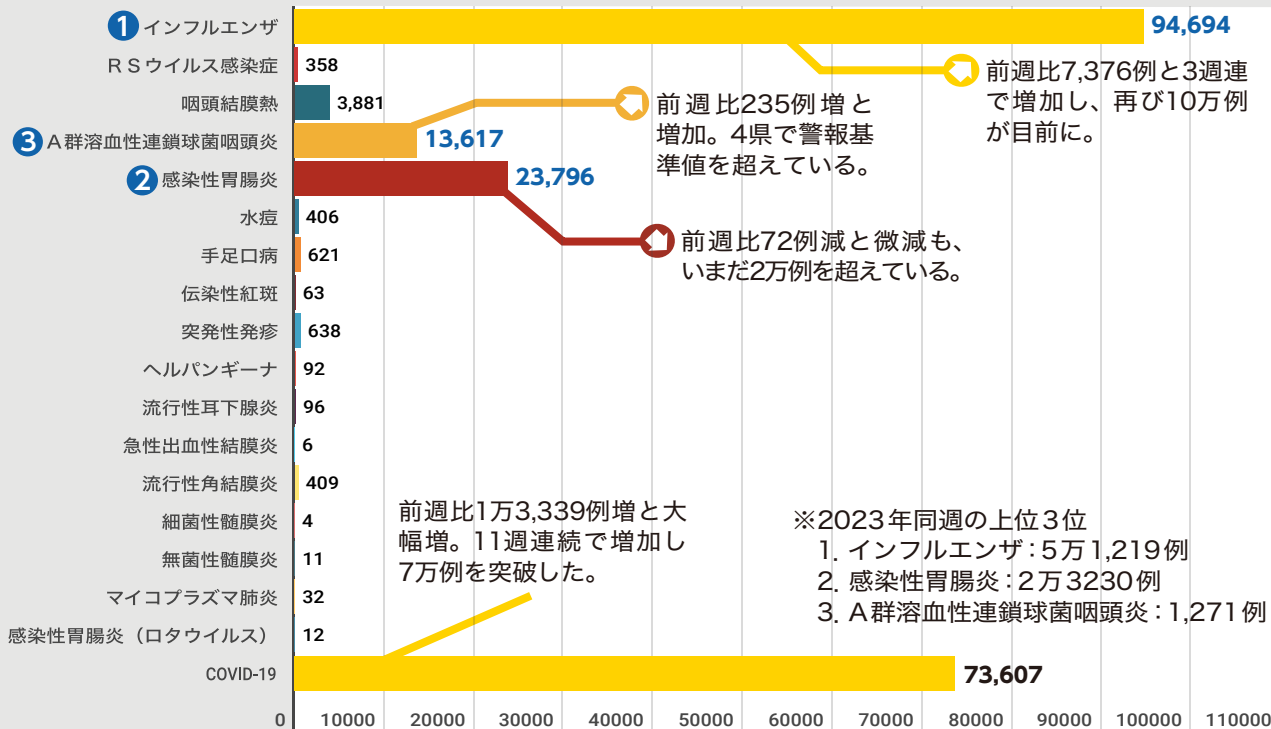


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# インフル10万例目前、コロナ7万例突破

丸数字は上位3位



※2023年同週の上位3位  
 1. インフルエンザ: 5万1,219例  
 2. 感染性胃腸炎: 2万3,230例  
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1,271例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

## ①インフルエンザ

報告数

- 神奈川県: 7,862例
- 東京都: 7,672例
- 大阪府: 7,286例

定点当たりの報告数(19.20)

- |               |               |               |                |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 福岡県: 34.89 | 4. 千葉県: 26.35 | 7. 京都府: 24.32 | 10. 宮城県: 23.56 |
| 2. 沖縄県: 31.83 | 5. 奈良県: 24.89 | 8. 埼玉県: 24.28 | 11. 熊本県: 23.28 |
| 3. 宮崎県: 29.86 | 6. 愛知県: 24.68 | 9. 大阪府: 23.81 | 12. 佐賀県: 22.38 |

## ②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 2,805例
- 神奈川県: 1,907例
- 埼玉県: 1,692例

定点当たりの報告数(7.60)

- |               |               |                |                |
|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. 香川県: 13.75 | 4. 島根県: 12.09 | 7. 鹿児島県: 10.73 | 10. 埼玉県: 10.32 |
| 2. 石川県: 13.54 | 5. 愛媛県: 11.05 | 8. 大分県: 10.36  | 11. 広島県: 10.06 |
| 3. 宮崎県: 12.44 | 6. 東京都: 10.75 | 9. 熊本県: 10.34  | 12. 兵庫県: 9.46  |

## ③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 北海道: 1,101例
- 東京都: 1,073例
- 福岡県: 968例

定点当たりの報告数(4.35)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 9.95 | 4. 福岡県: 8.07 | 7. 愛媛県: 6.27 | 10. 埼玉県: 5.73 |
| 2. 山形県: 8.71 | 5. 北海道: 7.92 | 8. 佐賀県: 6.26 | 11. 宮崎県: 5.69 |
| 3. 富山県: 8.10 | 6. 新潟県: 6.33 | 9. 千葉県: 5.85 | 12. 山口県: 5.53 |

## 今週の感染症動向

インフルエンザは先週から7,376例増加して9万4,694例と10万例が目前に。定点当たりの報告数は19.20で、福岡県(34.89)と沖縄県(31.83)は警報基準(30.00)を超えている。注意報基準(10.00)を上回る地域は42都府県と全国的な流行状態が続く。感染性胃腸炎は前週からわずかに減少も、いまだ2万例を超える水準にある。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は鳥取県(9.95)、山形県(8.71)、富山県(8.10)、福岡県(8.07)の4県で警報基準値(8.00)を上回っている。咽頭結膜熱の報告数は前週から減少しているものの、定点当たりの報告数は警報レベル(3.00)超えの地域が2県から富山県(3.69)、福井県(3.60)、鹿児島県(3.41)、山形県(3.04)の4県へと広がっている。COVID-19は増加が11週連続しており、昨年第37週(9月11～17日、8万6,510例)以来、4カ月ぶりに7万例を突破した。2月に入り、これまで以上に気温の低下と乾燥が予想される。感染症リスクが高い環境となるため、よりいっそうの警戒が必要だ。